

平成17年度職業能力開発局重点施策と予算の概要について

平成17年度予算額 1,687億円

I 若者人間力強化プロジェクトの推進 28億円

1 フリーター・無業者に対する働く意欲の涵養・向上 21億円

(1) 若者自立塾の創設（新規） 9.8億円

合宿形式による集団生活の中で、生活訓練、労働体験等を通じて、職業人、社会人として必要な基本的能力の獲得、勤労観の醸成を図り、働く自信と意欲を付与する。

20箇所

(2) ヤングジョブスポットの見直し等による若年者への働きかけの強化

8.9億円

拠点を設置して若年者の参集を待つ従来の方法を見直し、若年者が集まりやすい場所に出向き、情報提供、相談等を実施するとともに、インターネットを活用して情報を発信する等により地域における若年者に対する職業的自立への働きかけを強化する。

(3) 就職基礎能力速成講座の実施（新規） 2.3億円

民間事業者を活用して、職業意識啓発、職場におけるコミュニケーション能力、基礎的ビジネスマナー等の習得を図るための講座を10日間程度で実施し、早期の就職促進を図る。

2 ものづくり立国の推進 6.7億円

工場、民間・公共の訓練施設等の親子等への開放促進、ものづくり技能に関するシンポジウムの開催、若年者によるものづくり技能競技大会の実施等を通じ、ものづくりに親しむ社会を形成し、その基盤の上に熟練技能の一層の高度化を図る。

II 若者自立・挑戦プランの推進 124億円

1 実務・教育連結型人材育成システム（日本版デュアルシステム）の拡充

102億円

進路が決まらない学卒者等の日本版デュアルシステムの受講を促進するための体験講習を実施するとともに、企業、民間教育訓練機関の取組を促進す